

学生支援のこれまでと最新動向を知り、考える

蝶 慎一（香川大学 教育推進統合拠点 大学教育基盤センター 准教授）

講師略歴

専門は高等教育学、学生支援、大学教育。北海道大学教育学部卒業後、2018年に東京大学大学院教育学研究科総合教育科学専攻博士課程修了。博士（教育学）。2012年～2016年に国立大学協会特別研究員、2015年より（独）大学評価・学位授与機構研究開発部特任研究員、2016年より（独）大学改革支援・学位授与機構研究開発部助教、2020年に広島大学高等教育研究開発センター（RIHE）助教、同大学教育学学習支援センター助教を経て、2022年4月より現職。（独）日本学生支援機構の学生支援の取組状況に関する調査協力者会議委員、国立大学協会政策研究所客員研究員、大学史研究会事務局長なども務めている。所属先である香川大学では、全学共通教育、FD、TA、教学IRを始めとした諸活動や研修等を行う。主な研究関心は、日本（戦後沖縄）、アメリカ、カナダの学生支援、教養教育、TA などに関する歴史研究・国際比較である。

プログラム概要

学修者本位の大学教育における学生支援は、きわめて重要になっています。高等教育政策が大きく変化する中で、国内はもとより海外においても学生支援に関する多様なニュースが報じられています。また、学生支援をとりまく各種調査のデータや多様な結果が出されており、それらの現状を把握し、理解すること自体が容易ではなくなってきました。こうした急速に変化する国内、海外の大学教育における学生支援をめぐる、学生たちはどのような問題や困難、課題を抱えているのでしょうか。それに関わる教職員スタッフには、どのような職能開発が求められるのでしょうか。

このプログラムでは、日本と海外（アメリカ、韓国、カナダを予定）の大学における広く学生支援の理念、取組内容、その特徴について先駆的な取組事例をいくつかご紹介することで、参加者の皆様のご所属機関等における学生支援をめぐる職能開発の可能性を試行的に考えるきっかけとしたいと考えております。皆様のご参加をお待ちしております。

準備物・事前課題

なし

主な受講対象者

- ・広く学生支援をめぐる取組事例に興味関心のある教職員
- ・広く学生支援をめぐる職能開発に興味関心のある教職員
- ・学生支援に関わる教職員、学生スタッフ（TA 等も含む）による活動に興味関心のある教職員
- ・国内、海外の学生支援の歴史や、最新動向に興味関心のある教職員

到達目標

1. 国内、海外の大学における学生支援の理念、取組内容、その特徴について理解することができる。
2. 国内、海外の大学における学生支援の取組事例を把握し、その特徴と可能性を参加者どうして議論し、これからも継続的に考えるためのアイデアを整理することができる。
3. 自大学（ご自身の所属機関等）の学生支援をめぐる職能開発の可能性を試行的に考えることができる。